

～急変対応トレーニングが行われました～

入所している方の急変に対しては、誰もがその対応に不安をお持ちのことと思います。ケア大宮花の丘では、そのような時にも適切な対応ができるよう、研修体制が整備されています。



9月8日と9日に丸山会・丸子中央病院研修センターの橋倉先生をお招きして、急変時の対応等について職員全員が学びました。

インフルエンザについて

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身症状が突然現れます。併せて、普通の風邪のように、喉の痛み、鼻汁、せき等の症状も見られます。高齢者や免疫力が低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがありますので注意が必要です。

インフルエンザに感染したら→①早めに病院を受診しましょう。②安静して休養をとりましょう。③水分を十分に補給しましょう。

基本、手洗い・マスクをする等の予防に心がけましょう。

*体調に不安がある際は、来所を控えるようにしてください。

秋祭り

10月7日に秋祭りが行われました。季節外れの暑さでしたが、野外で太鼓やフラダンスを楽しみました。



長野県青木村から「義民太鼓」の皆さんが遠路はるばるケア大宮花の丘へお越し頂き、日本一の太鼓演奏を披露してくれました。

ケーハウラニ・フラスタジオさんからフラダンスの指導を受けながら、入所の方・ご家族・職員も一緒に踊りました。



ノロウイルスについて

ノロウイルスは、感染性胃腸炎や食中毒の原因となるウィルスで、発生は冬に多いとされていますが、熱を通したものを食べる等といった1年を通して注意が必要です。感染すると突発的に激しいおう吐や下痢。腹痛が発生し、発熱、頭痛、筋肉痛を伴うこともあります。疑ったらすぐ病院に行きましょう。